



前職の証券会社では、
ITを活用して顧客に解
決策を提案するソリュー
ション業務に携わった。
多忙な業務に追われる

経営企画本部 経営企画部
大シ 長 ア
スタント マネージャー

新会社は千載一遇のチャンス

の だ と し え 野田 叔枝さん

中、将来に漠然とした不安を感じるように。転職を考えたとき、普段利用している社会インフラを陰で支える建設コンサルタンの存在を知った。転職活動で見聞きした長大の社風に魅了され、2020年に入社を決めた。

金融機関で培ったファインダンスの経験を生かす、投資家向け情報提供（IR）業務を担当。10月1日付を予定する持ち株会社「人・夢・技術グループ」の移行業務を最優先に取り組んでいる。

「誰もが経験できない千載一遇のチャンス」と語り、一段と気を引き締めて仕事と向き合う。

建設コンサルの仕事は、橋梁や道路の調査・設計といった公共事業が大半を占める。入社前は「自社が果たす役割や魅力がわかり映えのしない」「能力を広くPRする広報活動にも力を入れたい」といたが、実際は違った。社業の変化を敏感に捉え、社業発展を目指して業務拡大に情熱を傾ける社員もおり、「過去からの継続」だけでできない仕事」と再認識した。

「学びの場」が成長できる。多くの業務を経験し、「一日も早く会社に貢献したい」と意欲を燃やしている。



いまい もとこ
今井 母土子さん

いという夢を諦め切れず、「身に付けたITの知識と都市計画を融合させて街づくりをしたい」と一念発起。働きながら専門学校で建築の知識を学んだ。長大橋のコンサルティング以外に地方創生など街づくりに強みを持つ長大を転職先に選んだ。



大学で都市計画を学んだ後、金融機関のシステムエンジニアとして働いた。だが昔から興味があった街づくりに携わりたい

長大まちづくり事業部
PP推進1部課長

入社して6年を迎え、まちづくり事業部のPP推進1部で課長を務める。PPP/PFI事業のための基本構想立案や事業可能性(FS)調査などに携わり発注者を支援。時には事業効果解説する住民説明会に向かい「仕事は醍醐味(だいがみ)は自分が提示したプランが実現すること。自分の提案で市民に生きがいを与えたい」と力を込める。

地域を活気づける。プラン提案



大学で建築を学び、より広い視野でまちづくりに携わってみたいという希望をかなえるため、建築部門が立ち上がったばかりの長大を就職先に選んだ。学校や病院などの建築設計を得意にしていたアルコムを同社が吸収合併したのは10年4月。「長大に入社を決めたのは建築設計だけの会社ではなかったから。エンドユーザーに近いポジションで仕事ができるのは非

広い視野でまちづくりに貢献



長大 まちづくり推進事業部
アルコム建築部

井伊 絵里子さん

常にうれしい」と、4年目の建物が集まって一つ目に入った社会人生活で充実した日々を送っている。

建築に興味を持ったきっかけは、まちづくり関連の仕事に携わっていた母の影響が大きいという。「子どものころ、新聞の折り込み広告に入っている住宅のチラシを見るのが大好きだった」。

さまざまな機能やデザインも、自転車部では部長と社員というケースも多いそう。「走っている時に体全体で味わえるギリギリ感」が自転車の魅力。心が沸き立つ感覚はもう一つの趣味である音楽のライブ通いと似ているという。

どんなに苦しくてもペダルを踏み続ければ前に進む。自転車で走ることには「仕事にもきつと役に立っている」。